

# 第85期 株主通信

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



Produce  
The Future

株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第85期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長

中島浩二



## 第85期の業績

当期におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の持ち直しが鈍いことや、一段の円安進行による原材料価格の高騰に加えて、中国や新興国経済の減速による海外景気の下振れ懸念などから、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当期業績は、繊維関連取引が減少しましたので、売上高は前期比4,055百万円、2.6%減収の154,440百万円となりました。売上総利益は、前期比1百万円、0.0%増益の14,248百万円、営業利益は、一般管理費が増加しましたので前期比502百万円、30.1%減益の1,164

百万円、経常利益は、前期比359百万円、26.2%減益の1,011百万円、当期純利益は、前期比460百万円、45.0%減益の563百万円となりました。

### 第85期業績

売上高	154,440百万円	前期比	△2.6%
営業利益	1,164百万円	前期比	△30.1%
経常利益	1,011百万円	前期比	△26.2%
当期純利益	563百万円	前期比	△45.0%

## 次期の見通し

今後の経営環境につきましては、景気は引き続き回復基調にありますが、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国経済の減速などの懸念は払拭されず、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われます。

こうした状況下、当社グループは、海外事業の拡大と収益性の向上を重点施策とし、各事業の採算とリスクの管理を徹底することで、収益基盤の強化を図るとともに、財務体質の改善を進めてまいります。

なお、ナノテクノロジー事業は、塗料、複合材料、燃料電池の3分野に絞り込み、早期の収益化を実現してまいります。

### 第86期業績予想

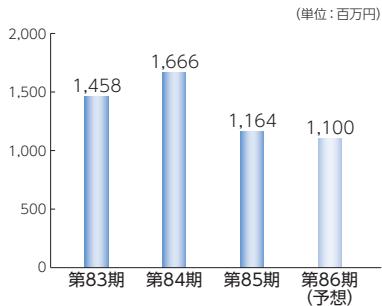
売上高	152,000百万円
営業利益	1,100百万円
経常利益	1,000百万円
当期純利益	700百万円

## 業績の推移(連結)

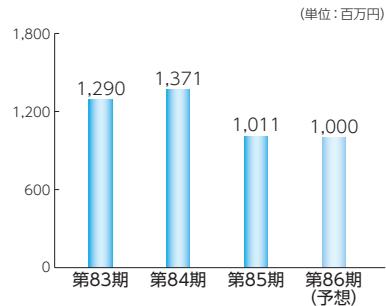
### 売上高



### 営業利益



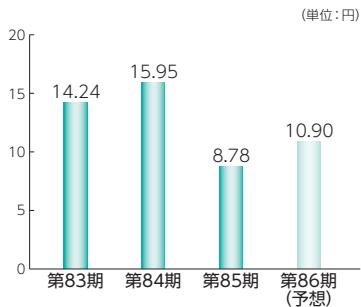
### 経常利益



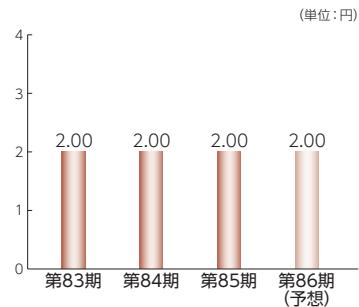
### 当期純利益



### 1株当たり当期純利益



### 配当金



## セグメント別概況

### 繊維事業

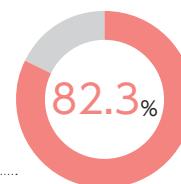
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、  
レッグ・インナー・  
アウターウェア 他

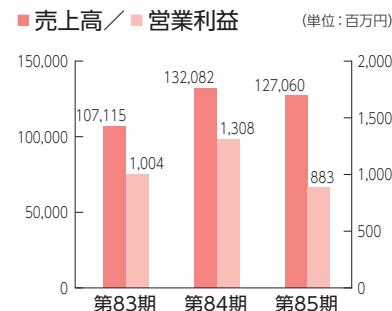


売上高	127,060百万円	
前期比		△3.8%
営業利益	883百万円	
前期比		△32.4%

売上構成比



- 機能性の高いインナー用の原糸・生地は、個人消費不振の長期化により大幅に減少しました。また、インナー製品のOEM取引や企画提案型の婦人ファンデーションも、円安による原材料価格の高騰が重なり減少しました。
- アウター用の生地輸出は、円安が追い風となり、米国向けが好調に推移したことに加え欧州やアジア向けも増加しましたが、アウター製品のOEM取引は、インナー製品と同様の影響を受けて、婦人向け、紳士向けともに大幅に減少しました。また、婦人アパレル事業も、販売が伸びず苦戦しました。



### 工業製品事業

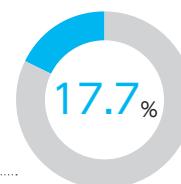
主要商品：

化学品、機械装置・資材、  
ホビー・生活関連品 他

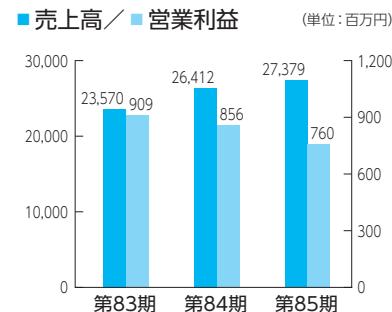


売上高	27,379百万円	
前期比		3.7%
営業利益	760百万円	
前期比		△11.2%

売上構成比



- 塗料・樹脂の添加剤は、欧米やアジア向けの輸出が伸長し、半導体関連の部材も好調に推移しました。また、米国における半導体用途の化学製品は、円安の影響もあり売上が増加しました。一方、フィルムは、前年並みとなり、理化学機器や化粧品原料などの輸入品は、円安進行の影響を受けて取引が減少するとともに利益率が低下しました。
- ホビー関連商品は、模型用塗料のアジア向け輸出が増加しました。



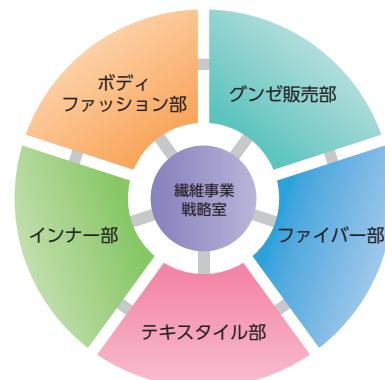
## ■ 繊維事業部門を再編

### — 組織の専門性と営業力を強化し、より高品質なサービスを提供 —

当社は、繊維事業各部門がこれまで培ってきたノウハウや専門性を整理・統合する組織の再編成を本年4月1日に実施しました。

新たな組織は、事業領域を基軸に再編し、グンゼ販売部、ファイバー部、テキスタイル部、インナー部、ボディファッション部に繊維事業戦略室を加えた6部門とし、より高品質なサービスを提供するとともに、お客様のニーズに今まで以上に迅速にお応えしてまいります。

さらに、各組織の営業力を強化し、当社主導のビジネスモデルを深耕することで、事業の拡大と収益性の向上を図ってまいります。



繊維事業部門の新体制

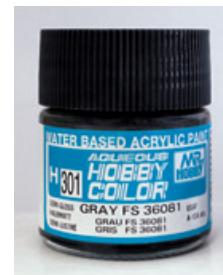
## ■ 国際玩具専門見本市「シュピールヴァーレンメッセ」に出展

### — 模型用塗料分野でのグローバルニッチトップを目指して —

当社は、本年1月28日から2月2日まで、ドイツ・ニュルンベルクで開催された世界最大の国際玩具専門見本市「シュピールヴァーレンメッセ」において、Mr.HOBBYブランドの模型用塗料と塗装

用ツールを出展しました。

見本市では、各国の販売代理店に対してプレゼンを行い、商品の優れた品質をアピールしました。来場者の反応は上々で、なかでも安全性が高い水性塗料に関心が集まりました。



海外販売用の水性塗料

当社は、近年、模型用塗料の海外への拡販を図っており、欧州、北米や中国で実績を上げています。今後も、当社現地法人との連携を深め、各地域における販売活動を強化することにより、この分野でのグローバルニッチトップを目指してまいります。



「シュピールヴァーレンメッセ」の様子

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期	
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在	
資産の部	流動資産	54,331	54,769
	固定資産	11,553	12,060
	有形固定資産	4,696	5,414
	無形固定資産	899	974
	投資その他の資産	5,958	5,671
資産合計	65,885	66,829	
負債の部	流動負債	48,199	48,913
	固定負債	1,624	3,123
負債合計	49,823	52,036	
純資産の部	株主資本	15,282	14,793
	その他の包括利益累計額	729	△50
	少数株主持分	49	49
純資産合計	16,061	14,792	
負債純資産合計	65,885	66,829	

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

売上債権の減少等により、前期末比944百万円の減少

負債

借入金の減少等により、前期末比2,213百万円の減少

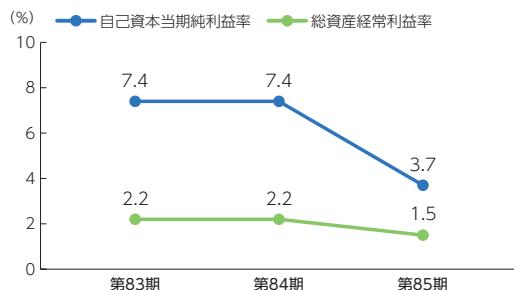
純資産

当期純利益による株主資本の増加およびその他の包括利益累計額の増加により、前期末比1,269百万円の増加

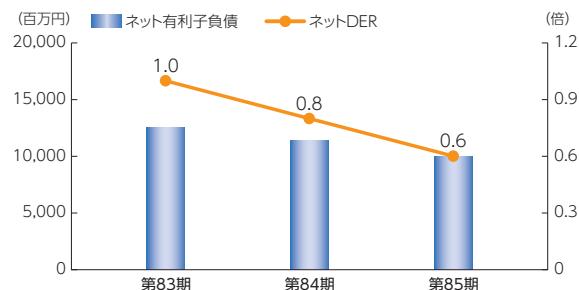
純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



自己資本当期純利益率(%)／総資産経常利益率(%)



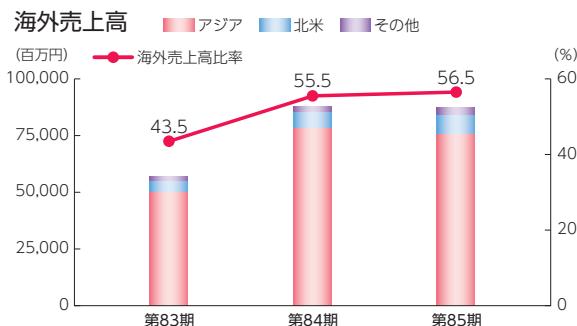
ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



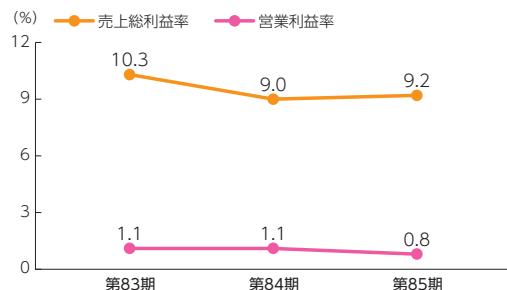
## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
売上高	154,440	158,495
売上原価	140,191	144,248
売上総利益	14,248	14,246
販売費及び一般管理費	13,083	12,579
営業利益	1,164	1,666
営業外収益	280	278
営業外費用	433	574
経常利益	1,011	1,371
特別利益	517	8
特別損失	460	114
税金等調整前当期純利益	1,069	1,265
法人税等合計	504	240
少数株主利益	0	0
当期純利益	563	1,024



## 売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,178	1,494
投資活動による キャッシュ・フロー	△7	△279
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,151	△1,462
現金及び現金同等物の 期末残高	8,423	8,130

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益や売上債権の減少等により、2,178百万円の増加

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の取得による支出等により、7百万円の減少

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済等により、2,151百万円の減少

## 会社概要

### 会社の概要 (平成27年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	606名(連結)		
拠点	国内 8ヶ所	海外	17ヶ所
連結子会社	国内 7社	海外	8社
ホームページ	<a href="http://www.gsi.co.jp">http://www.gsi.co.jp</a>		

### 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

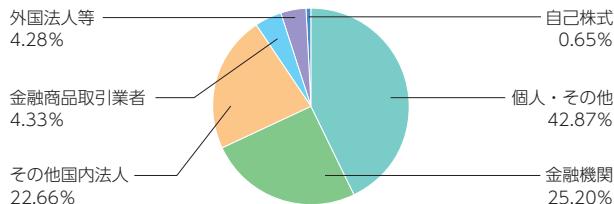
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式423,123株を含む)
株主数	6,065名

#### 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.51
株式会社みずほ銀行	3,182	4.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.94
日本生命保険相互会社	2,328	3.63
東レ株式会社	1,982	3.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,353	2.11
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	952	1.48
日本証券金融株式会社	835	1.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	699	1.09
内田 昌宏	593	0.92

(注) 持株比率については、自己株式(423,123株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

#### 株主構成(所有者別株式数の割合)



### 役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	中島 浩二	取締役	新美 一夫
常務取締役	松下 康彦	取締役	大西 文博
常務取締役	吉永 直明	社外取締役	後藤 芳浩
常務取締役	中山 正輝	常勤監査役	浅野 幹雄
取締役	荒木 靖司	監査役	石川 均
取締役	富田 正憲	社外監査役	岩田 紀治
		社外監査役	金井 博芳

### 株主メモ

証券コード 8101  
上場証券取引所 東京  
事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
期末配当金 3月31日  
受領株主確定日  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)  
公告の方法 電子公告  
当社のホームページに掲載いたします。  
公告掲載アドレス <http://www.gsi.co.jp/ir/notice>  
(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

